

名古屋学院大学の「教育研究等環境の整備に関する方針」

名古屋学院大学の建学の精神『敬神愛人』（教育理念）及び本学の目的に基づき、次の方針により教育研究等環境の整備・管理運営を行うものとする。

1. 校地・校舎及び施設・設備等の整備

- 学生の学習及び教員の教育研究活動を実施するにふさわしい校地・校舎、設備及び付属施設を確保し、整備する。
- 学生及び教職員のニーズを踏まえた質の高い教育研究活動が推進されるよう多様な学びの場の形成に取り組む。
- 安心して学生が学び、教職員が働くことのできるよう施設設備の安全性、利便性及び衛生面を考慮した整備を進める。
- 教育研究環境の快適性を維持できるよう中長期の修繕計画を策定して施設設備の更新を進める。

2. 図書館、学術情報サービス及びネットワーク環境等の整備

- 学生の学修及び教職員の教育研究活動を効果的に行えるよう、教育研究上必要な図書資料及び電子資料の収集、整理及び提供を行うほか、情報の処理及び提供システムを整備する。
- 教育研究及び修学・学生支援等の環境を提供する本学独自のポータルサイト「CCS(キャンパスコミュニケーションサービス)」を安定的にサービス提供できるよう、ソフトウェア、ネットワーク環境、情報機器を整備する。